

名古屋能楽堂

能楽普及公演

九月定例公演

東海ゆかりの能・狂言

聴けば楽し、名所の語り

「ステイホーム」が叫ばれた春から夏、映像や本を眺めて旅への想いを紛らした方も多いでしょう。

実は能や狂言も、旅情報の宝庫なのです。熱田神宮(草薙)や伊勢参り(素袍落)。

富士山を望む三保の松原(羽衣)…。「三間四方」の能舞台から広がる名所の景色、

語りの妙味を楽しんでみませんか。

能

舞
囃
子

狂
言

能

「草薙」(宝生流) — 熱田神宮 —
くさなぎ
シテ 衣斐 正宜
すおうおとし
「素袍落」(和泉流) — 伊勢参り —
シテ 鹿島 俊裕
たむら
「田村」(観世流)
シテ 瀬戸 洋子
はごろも
「羽衣」(金剛流) — 三保の松原 —
シテ 熊谷眞知子
床凡之物着

令和 2年 9月6日(日)
13:30開演(12:30開場)

全指定席

正面席A.....4,200円

正面席B、中・脇正面席...3,200円

学生券(正面席A以外).....2,000円

※学生は25歳以下を対象とします。

※感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。

※発熱など風邪症状のある場合はご来館前に医療機関にご相談ください。

※本公演のイヤホンガイドはございません。

能「羽衣」(金剛流)
熊谷眞知子
(写真提供:熊谷眞知子)

能「草薙」(宝生流)
衣斐 正宜
(撮影:工房 円)

7月3日(金)より
前売券発売

主催

公益財団法人

名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部

能
草薙（宝生流）

前シテ 花売男
後シテ 日本武尊
前ツレ 花売女
後ツレ 橘姫
ワキ 恵心僧都
アイ 熱田の里人

笛 竹市 学
小鼓 船戸 昭弘
大鼓 河村 裕一郎
太鼓 加藤 洋輝

後見 松浦 祥子

地謡

能勢 涉 東川 尚史
津田 節哉 佐藤 耕司
石森 智幸 和久 莊太郎
平田 正文 内藤 飛能

狂言
素袍落（和泉流）

シテ 太郎冠者 鹿島 俊裕
アド 主人 佐藤 融
アド 伯父 佐藤 友彦

後見 井上松次郎

舞囃子
田村（観世流）

笛 竹市 学
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村眞之介
伊藤 裕貴
清沢 一政
久田 勘鷗
吉沢 旭

仕舞
通小町（倉多流）

長田 郷
伊藤 英毅
長田 駿
松井 俊介

仕舞
邯鄲（金春流）

鬼頭 尚久
廣瀬 雅弘
本田 布由樹
前田 登

休憩二十分

能
羽衣（金剛流）
床凡之物着

シテ 天人 熊谷眞知子
ワキ 漁夫白龍 橋本 宰

笛 山村 友子
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村総一郎
太鼓 鬼頭 義命

平澤由美子 山根 泰子
大川 磨美 加藤かおる
鈴木 昌美 伊藤 雅子
田中 春奈 羽多野良子

（午後五時頃終了予定）
止むを得ず曲目・出演者等が変更になる場合がございます。

8月15日（土）に
予定していました
九月定例公演事前学習講座は
中止となりました。
何卒ご了承ください。

◆能解説「草薙」くさなぎ

尾張国熱田の宮に七日間籠り、最勝王経を講じている恵心僧都（ワキ）の元へ、花売りの男女（前シテ・前ツレ）が草花を持って現れます。恵心僧都が草花の名を尋ねると、二人は橘の花について語り、恵心僧都に花を勧めます。僧都が自分の名を名乗り、最勝王経を講じていることを話すと二人は喜び、男は草薙の真剣を守る者、女は命を延べる仙女であると明かします。そして、七日目の夜に姿を見せると告げて消え失せます。熱田の社人（間狂言）が日本武尊と橘姫について語ると、御殿が鳴動し、日本武尊（後シテ）と橘姫（後ツレ）が姿を現します。日本武尊は、草薙の剣で東夷を平らげたこと、剣が熱田の宮に納まつたことを物語り、最後に最勝王経の徳を讃えます。

「伊勢皇大神宮」「熱田の神剣」「一村山」「豊明市」「興津（静岡市）」曲の後半、謡の中に東海地方の地名がいくつも出てきます。日本武尊、橘姫と、熱田神宮に祀られている草薙の剣にスポットを当てつつ、「神道も栄え国も富み、人も息災なること」とこの国全体の安泰を言祝いで曲が締めくくられています。（衣斐 愛）

◆狂言解説「素袍落」すあおとし

伊勢参りを思い立った主人は、かねてより参詣希望のあった伯父を誘うため、召使（太郎冠者）を遣いにします。伯父には生憎先約があつて同行は出来ないものの、折角訪ねて来た太郎冠者に對して門出の祝いと酒を振舞い、自分の代参を頼んで引出物の素袍を託します。振舞われるままにすっかり酔いの回つた太郎冠者は、やがて支離滅裂な状態となつて……

素袍袴の出立ちは中世の正装・礼装を表し、伊勢参拝は全国各地から今も昔も変わらぬ信仰を受けて、殊に当時遠方の集落では籤引きを用いて地区を代表し、参拝者を決める《伊勢講》《伊勢代参》と呼ばれる風習もありました。伊勢詣といふ目出度い行事を背景に持つ事から、正月などに上演する祝言曲として取り上げられる事も多い演目です。

また「千鳥」「寝音曲」「椿縛」など酒にまつわるエピソードは、狂言を代表するテーマの一つですが、中でも本曲は、徐々に酩酊していく太郎冠者の演技が重要な見どころとなつていきます。

◆能解説「羽衣」床凡之物着（はこも）

三保の松原の漁夫白龍たちは、霞たなびくのどかな春の浜辺の景色を眺めながら歩いて行くと、とある松の枝に美しい衣がかかっている。珍しさのあまり家の宝にしようと思つて持ち帰ろうとするとどこからともなく天人が現れ、それは私の羽衣だから返してくれという。白龍はそれではなおさら国の宝とすべきものと返すことを拒むが、天人は羽衣がないと天上に帰れないと天を仰ぎ悲嘆にくれる。その様子を見て白龍は哀れに思い、天人の舞楽を見せようという条件に衣を返す。天人は喜んで衣を着、月界の世界のありさまを語り三保の松原の景色を賞で、日本の国を讃えて羽衣を春風に靡かせながら美しい舞を舞いやがて富士の遥か彼方に霞に紛れ消えて行く。

舞金剛と称される金剛流ならではの華麗な舞をお楽しみ頂ける一曲。小書き（特殊演出）により白蓮の天冠を戴く。「物着」常は後見座にて行つた「床凡之物着」ではシテは舞台大小前で床凡に掛かつたまま行われる。（熊谷眞知子）

チケット料金（税込み） *前売券発売日 令和2年7月3日（金）

全指定席	正面席A	正面席B・中正面席・脇正面席	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前売 Advance sale	4,200円	3,200円	2,000円

*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のご入場はお断りいたします。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方（付添者1名含む）は400円引き（学生席は200円引きです）
（名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。）

*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外のご遠慮下さい。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂／TEL.052-231-0088

*前売券発売日当日は、お電話がつながりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド／TEL.052-249-9387

（平日9:00～17:00／チケット郵送可）

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口＜土日祝日も営業＞でもお求めいただけます。

（工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。）

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引致します。（名古屋能楽堂取扱いのみ）

Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ／名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



【感染予防への取り組みとお願い】

- ◎ご来館の際はマスクをご着用ください。
 - ◎発熱など風邪症状のある場合はご来館前に医療機関にご相談ください。
 - ◎本公演のイヤホンガイドはございません。
 - ◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。
- 座席数は定員の半分以下となります。その他必要な対応をさせていただきますので、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は
名古屋能楽堂ホームページを
ご覧ください。


https://www.bunka758.or.jp/scd24_top.html